

山川地域住民説明会質疑等の概要【大成小学校区】

○日時：平成31年2月28日（木） 19:00～20:30

○場所：山川図書館

○参加者：31人

参加者）大成小でも閉校式をするのか。

事務局）新設集約であり、4校とも閉校となるので、それぞれの学校で閉校式をするものと考えている。

先日、日置市の日吉小を視察した。そこは4つの小学校が日置小の場所に集まり、現在は日吉小となっている。日置小以外の学校は大きな閉校式を行ったが、日置小は他の学校とは違った形の閉校式をしたと聞いた。式典のあり方については、今後、それぞれの校区やPTAで協議されていくものと考えている。

参加者）私が小学生の時2校が1校に集約となった。その時、学校名は先に決まっていたが、校章は新しい小学校になってから児童がデザインを考えた。そういう意見は出なかったか。広く公募すると、地域とまったく関係のない人たちから応募が来ることになる。できれば、児童たちが自分たちで考えたデザインがいいと思う。

事務局）そのような意見は出ていないが、面白い案だと思う。調整会議などで協議してみたい。

参加者）大成小の国道側の法面の草刈作業は危険である。また、消防車が直接校庭に入れないと聞いた。教室の改修だけでなく、学校の周辺の改修もお願いしたい。駐車場の入口も離合が難しいので、整備や拡張を考えてほしい。可能であればバスターミナルの設置に合わせて校門を移動するなどして、子どもが入りやすいようにしてほしい。

式典は、PTA会費の予算のみでは難しいところもあるので、補助金なども検討してほしい。

事務局）国道側の法面の話は聞いており、学校整備室で検討している。集約の協議も進んでいるので、どのタイミングで、どのような形でできるのか、整理しながら対応しないといけないと考えている。

バスターミナルを検討するに当たって教育委員会以外の課とも協議をしている。現在の正門は勾配が急なので、改修ができないかという話もしている。バスターミナルの場所についても現在検討しており、保護者が迎えに来たときにも、駐車場として活用できないか検討している。方向性が出たら、示すことができると思っている。

PTAへの補助金については、先進地では、出しているところもある。調査しながら、予算要求はしていきたいと思っている。

参加者）PTAの役員選出で苦勞すると思うが、どのような協議をするのか。早目に決めないと役員選出ができない。

事務局）PTA組織の協議は、今後、PTAで協議を進めてもらわないといけないと思っている。議会の議決を経てから動くのか、その前に早目に対応をするのかについては、PTAの方々と話をしてほしいと思っている。事務局では、協議のための情報等を示して、その後、PTAで考えてもらいたい。子供会や郷土芸能保存会などのあり方等も含めて、今後どのような形にしたらいいのか検討したいと考えている。PTAの方の意見を聞きながら、今後のことについて検討を進めていきたい。

参加者) 放課後児童クラブは、大成はたいせいこども園、徳光は慈光保育園が運営しており、山川は公民館で預かっている。なかなか入れない子どもが多く、金額のばらつきがある。それぞれのやり方で進めているので、料金を日割りにするなど、仕組みを統一してほしい。再編したら学校敷地内に放課後児童クラブがあるのが理想だと思う。放課後児童クラブに入れなくて小学1年生が仕方なく家で留守番しているという話を聞く。低学年の子どもが優先的に入れるようにできないか。

また、夏休み等の長期休みに預ける場所がないため、共働きや母子家庭などは、子どもだけで家がないといけない。各園での対応が違い、長期休みだけの預かりができないところもあれば、長期休みは料金を日割りで預かっているところもある。その対応も考えてほしい。

事務局) 放課後児童クラブについては、担当が地域福祉課になるが、情報交換をしており、これから具体的に協議していくことになっている。長期休暇中に預けられないという意見や金額を統一してほしいという意見、低学年を優先してほしいという意見があったことを担当部署に伝える。

参加者) 学校と地域を含めて子どもの放課後の過ごし方は大事だと思う。山川の子どもクラブは、長期休暇中は高校生、大学生、短大生、地域ボランティアの協力を得ながら、山川校区の皆さんが利用している。せっかく新しい学校ができるのであれば、この地域の魅力を高めるチャンスだと思う。放課後に子どもたちがやりたいことを体験したり、学んだり、遊びの時間をたくさんつくってあげながら、子どもたちの生活のリズムをつくる場所として、一緒に魅力ある学校をつくってほしい。

事務局) そのとおりだと思う。教育委員会では、山川地域に魅力のある学校をつくりたいと思っている。この機会にいろいろな案を出してほしい。すべて実現できるという約束はできないが、持ち帰って、調整会議からも意見をもらいながら検討していきたい。

参加者) 丹波小では放課後、勉強をみてもらったり、自由に遊んだりしているという話を聞いた。そういう計画は山川でもあるのか。

事務局) 丹波小では、公民館主催の「キッズ教室」を実施している。これは、公民館講座のようなもので、子どもたちが集まる機会をつくっている。

また、社会教育課では、「放課後子供教室」ということで、学校が早く終わる月曜日の放課後に、ボランティアの方々に、学校の教室で子どもたちの宿題をみてもらっている。この「放課後子供教室」は、今和泉小と柳田小で試行的に行っているが、地域ボランティアの方がいないと運営できないので、来年どこがするのか、今のところ決まっていない。校区の規模や要望次第だと思う。学校の教室も借りないといけないので、学校にも相談してほしい。

参加者) 文部科学省と厚生労働省が連携して実施している「放課後子ども総合プラン」では、放課後児童健全育成事業は「適切な遊び及び生活の場の提供」として位置づけられているので、福祉とか教育とかは関係ない。ある青少年育成会議で、「保護者の方にもボランティアをお願いするかもしれない」と言われたが、保護者は働いているので難しい。地域の方にボランティアをお願いするとしても、大成小まで行くのは遠い。そこで、「いくらかの予算で、受益者負担ということで親がいくら払って、市がいくら出して」ということなど、子どもたちの放課後の過ごし方をみんなで考えていかないといけない。ぜひ前向きに、山川を魅力ある地域にするために、教育委員会と福祉と一緒に協力をしてほしい。部署は違っても同じ市民生活の中でとても大事なことだと思っている。

事務局)「放課後児童クラブ」は地域福祉課の事業で、指宿市では、幼稚園や保育園等が運営している。

「放課後子供教室」は社会教育課の事業で、放課後に子どもたちの宿題をみてあげたりするもので、長期休みには実施していない。放課後の子どもたちの過ごし方ということでは同じだが、事業が違うということを理解してほしい。

参加者)大成小の放課後児童クラブの予算を議会に提案していると新聞に掲載されていたが、来年度から動き始めるということか。

事務局)設計予算を計上したという段階である。議会の議決を経なければ決定とは言えない。予算が可決されれば、平成31年度に設計を行うという段階である。

参加者)長期休みに利用できない学童があるということだったが、1日預かってくれる所がないので、市も協力してほしい。鹿児島市は、ほとんどの所で長期休みも学校の近くに学童クラブを設けて預かっており、親も安心して働ける。そういう所が指宿にはない。長期休みに困るので、長期休みは預からないというのは、親としては納得できない。今、こども園や保育園で放課後児童クラブをやっているが、そこだけだと入らない。再編したら、利永や山川からそこに来るのか。朝は連れて行けると思うが、夕方は親は迎えに行けない。学校でのアンケートにも書いたが、放課後だけでなく、長期休みが困っている。放課後1、2時間は待てる。待てないのは長期休み。その辺を検討してほしい。

事務局)「施設はあるが、入れない子どもがいる。今回、学校が集約する機会に子ども園や保育園とは別に放課後児童クラブをつくってほしい」という意見だったと思う。このことについては、地域福祉課で事業を進めているので話を伝えたい。

教育委員会、地域福祉課という縄張り争いのようなことを言っているのではない。予算面で、国から補助事業をもらったりするので、市のどこの部署が予算を受けて事業をするかということである。放課後児童クラブは厚生労働省の事業で地域福祉課に補助金が下りてくるので、地域福祉課で対応するということである。学校集約の機会に、そういうことについても一緒に考えてほしいという意見として受けたい。

参加者)2年後には学校が集約されるということだが、20項目の調整項目の中で、子どもが教育を受ける環境について議論されているのか。また、教員が過重負担で大変だと聞くが、教員の声を反映しているのか。今後、短期間でやるのであれば、現場の声を反映することも検討してほしい。

事務局)先ほど、「魅力を高めるチャンス」という話が出たが、その魅力は外観からだけでなく、子どもの姿というものもある。様々な課題があるが、学校が1校になることで、少しでも解決されて、プラスになっていけるような仕組みづくりをしていきたいと思っている。

教員の働き方改革、過重負担などについては話題になっている。今それぞれの学校の実態を調査しながら、市でできる部分とそれぞれの学校でできる部分を目に見える形で進めている。子どもも教員も学校に行きたいと思うような学校づくりについて、学校と話し合いながら進めたいと思っている。

参加者)小学校では、PTAはもちろんだが、地域のいろいろな組織と絡んでいるので、PTCAが大事だと思う。地域コミュニティの力がもらえないと小学校はやっていけないと思う。教員の働き方改革も分かるし、すごく大変だと思う。今度、学習指導要領も変わり、さらに学校再編という中で、教員の人数も足りないように感じている。保護者も共働きが多かったり、PTA役員を決めるのにも半

分喧嘩になりそうな状況である。親がニコニコできない。地域もニコニコできない。それで、子どもが本当にニコニコできるのだろうか。子どもをニコニコさせるためには親がニコニコしたPTA組織をつくらないといけない。大成だけではなく、山川地域の人間が山川地域の子どもを自分たちの手で育てるという気概で学校再編を進めてほしいと思っている。とにかく、教員とか子どもとか、いろいろな見方があると思うが、いろいろな方向から、いろいろな力を借りて、よい学校をつくってほしい。

以上